

令和5年度 都市農業にトライ！

—持続可能な都市農業を目指して—



令和6年2月
農林水産省

はじめに



都市農業の評価は時代とともに変化

- ◆ 高度経済成長期の急激な都市化により宅地需要が高まり、地価が急上昇すると、都市で大規模な農地を有する都市農業への風当たりが強まり、都市農業は縮小していきました。
- ◆ しかし、近年、都市への人口流入の鈍化により開発圧力が低下したことに加え、都市住民の食への意識が高まり、ゆとりや潤いを求めるライフスタイルへと変化しました。こうした変化に伴い、身近な農地で生産された新鮮な野菜を手に入れたい、自らの手で野菜をつくりたい、子供達に土に触れさせたいといった、都市農業に対するニーズや評価が高まっています。
- ◆ また、先の新型コロナウイルスの感染拡大や世界的な気候変動、ウクライナ情勢・円安の影響による物価上昇等により、従来の生活スタイルが通用しない状況が生まれ、都市農業を見直す契機になっています。特に、コロナ禍をきっかけに市民農園やコミュニティ農園の利用、身近に存在する農産物直売所、生産地の存在意義が再認識され、都市農業・都市農地に対する関心が高まっているとも言われています。

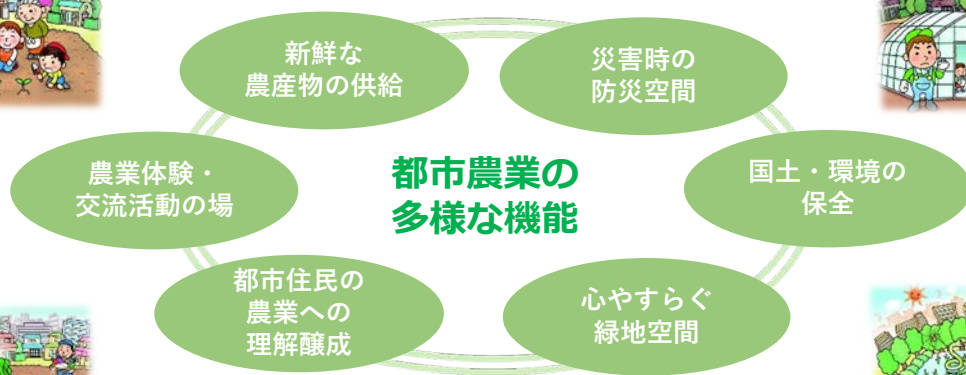


都市農業を未来に繋げるためには

- ◆ 都市に潤いをもたらし、都市住民の生活の向上にも寄与する都市農業の安定的な継続のためには、持続可能な農業生産が行われることが大切です。
- ◆ しかしながら、都市農業が営まれる都市農地は一般的に面積が小さく、経営発展のためにどのような取組を行うべきか、苦慮されているという声をお聞きます。
- ◆ 一方で 都市農業者の中には、生産現場と消費者との距離が近いという都市農業のメリットを最大限に活かした特色ある取組をされている方も多くいらっしゃいます。
- ◆ このため、今後の経営発展の参考としていただけるよう、モデルとなる都市農業者の取組や秘訣などをまとめた事例集作成しました。今回は、令和5年度に取材した9農家及び4カ所のコミュニティ農園を紹介します。
- ◇ 本事例集が、都市農業者の方の農業経営の発展に寄与し、都市農業を未来に繋げるための一助となることを期待申し上げます。
- ◇ 最後になりますが、本事例集を作成するにあたり御協力いただきました皆さまにこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

目次

所在地	経営体名	ページ
01 都市農業のビジネスモデルの事例		
埼玉県 所沢市	松村ナーセリー 松村 みよ子 さん	7
東京都 練馬区	東京ワイナリー 越後屋 美和 さん	9
東京都 三鷹市	鴨志田農園 鴨志田 純 さん	11
東京都 日野市	株市会社ネイバーズファーム 梅村 桂 さん	13
東京都 清瀬市	横山園芸 横山 直樹 さん	15
東京都 あきる野市	笹本農園 笹本 善之 さん	17
神奈川県 横浜市	苅部農園 苅部 博之 さん	19
千葉県 松戸市	鵜殿シトラスファーム 鵜殿 敏弘 さん	21
京都府 京都市	修学院扇子 扇子 次郎 さん	23
02 都市部におけるコミュニティ農園の事例		
東京都 中央区	Edible KAYABAYEN	27
東京都 墨田区	たもんじ交流農園	29
兵庫県 神戸市	シェラトンファーム	31
兵庫県 尼崎市	コミュニティファーム尼崎市善法寺	33



首都圏（埼玉県, 東京都, 神奈川県, 千葉県）



松村ナーセリー



横山園芸



東京ワイナリー



鵜殿シトラスファーム



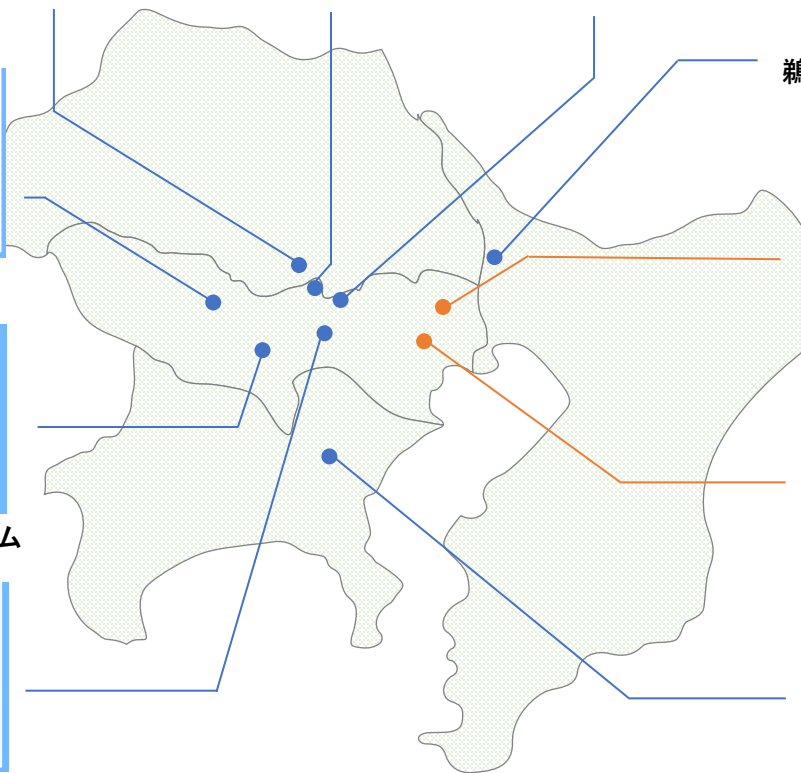
笹本農園



(株)ネイバーズファーム



鴨志田農園



たもんじ交流農園



Edible KAYABAEN

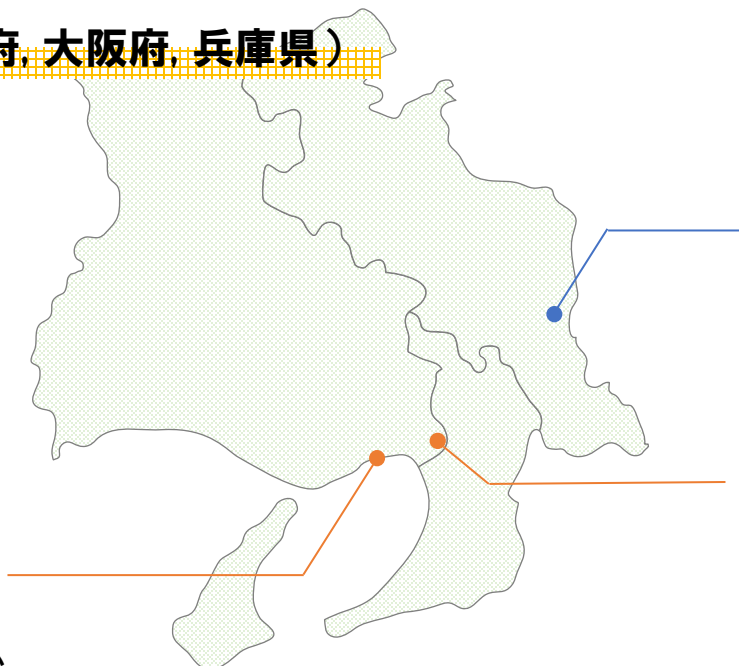


苅部農園

近畿圏（京都府, 大阪府, 兵庫県）



シェラトンファーム



修学院扇子



コミュニティファーム
尼崎市善法寺

